



2017年 ハケ岳自然クラブ総会

2017年4月4日(火)
山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター

クラブの概況

会員数の推移

2016年3月31日: 140人

退会: 18人

入会: 28人

増減: 10人増

2017年3月31日: 150人

グループの人数 (2017年3月31日現在)

フクロウグループ: 43人

山野草グループ: 40人

ハイキンググループ: 17人

2016年度 活動報告

- ・自然観察会・ハイキング 18回
- ・茶話会 1回
「清里の開拓とペンション物語」 山田ご夫妻
- ・講演会 1回
「軽井沢町におけるツキノワグマ対策と
ベアドッグの取り組みについて」
NPO法人ピッキオ 大嶋 元氏
- ・写真展 10月5日～10月17日12日間
出品者 19名 写真 54点
来場者数 732人

自然観察会・ハイキング(18回)

野鳥観察

(清里湖、竜神池・諏訪湖)

..... 2回

植物観察、自然散策

(小泉山、蓼科大滝、佐久広瀬、池のくるみ、美し森キノコ
石仏、三分一湧水散策、おやなぎさん)海ノ口中止

..... 8回

ハイキング・軽登山・登山

(荒倉山、守屋山、霧ヶ峰、北八ヶ岳、雨乞岳、鷹見岩)
新府桃の里中止

..... 6回

スノーシュー

(入笠山、北八ヶ岳)

..... 2回

フクロウグループ

2016年度中の新規入会者9名、退会者1名

メンバー総数 43名(2017年3月15日現在)

2016年度の主な出来事:

1月～6月 巣箱利用調査と営巣巣箱の観察活動・・・①

7月12日 営巣巣箱の巣材回収作業

10月21日 袋井市フクロウ活動視察団(7名)との懇談会

* 11月には新潟市から巣箱設計に関する問い合わせ

11月15-16日 巣箱保守点検作業・・・・・・・・・・・・②

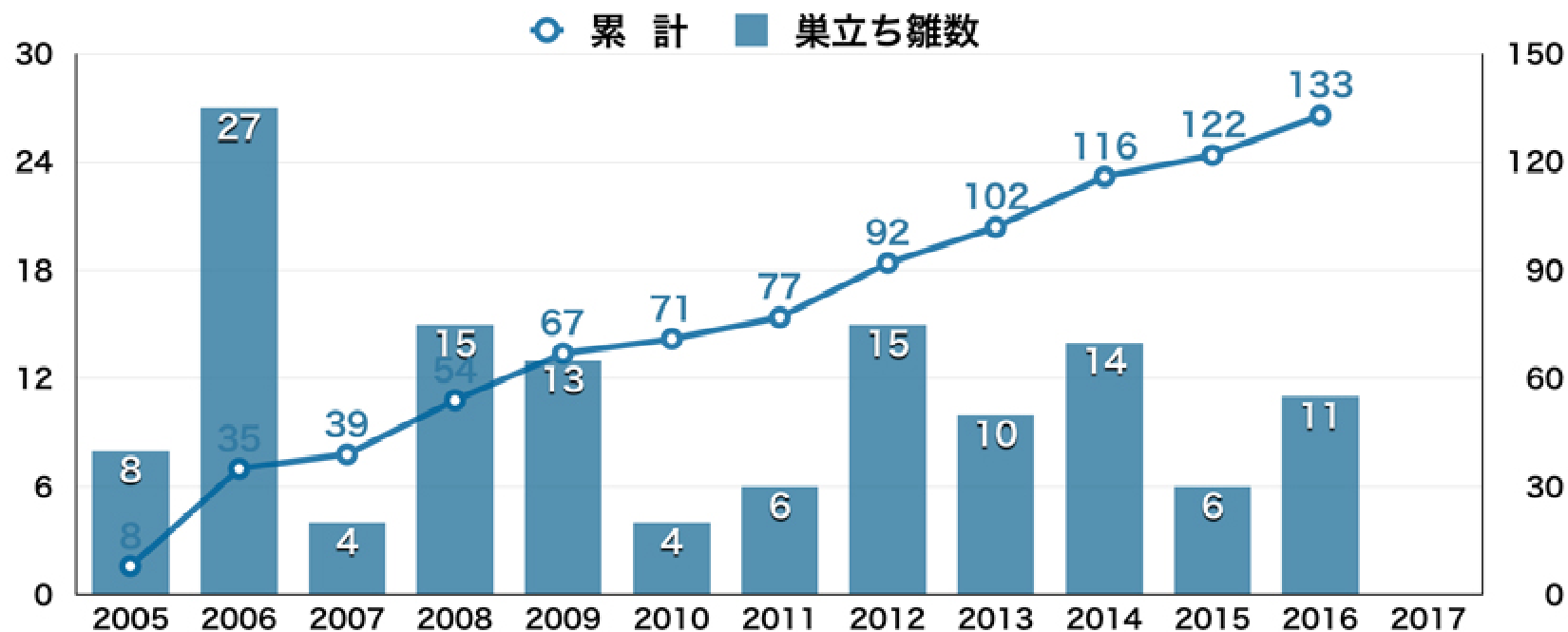
11月～12月 麻布大学での巣箱内残存物分別作業・・・③

2017/2月2日 巣箱観察説明会・・・・・・・・・・・・④

その他: ・フクロウグループニュース(No.67号～71号)を発行
・メンバー間供覧のため巣箱観察記録や写真・動画を
ネットに掲載

① 巣箱利用調査と営巣巣箱の観察活動

2016年1月からスタートした巣箱利用調査では、
8箇所 of 巣箱に営巣の形跡が確認されました。
その内6箇所 of 巣箱から11羽 of ヒナが巣立ちました。



② 巣箱保守点検作業

- 11月15～16日の二日間をかけて、巣材の入替え、タッチ板の付替え、巣箱損傷箇所の修繕などの作業を実施しました。
- 新しく加入したメンバーの方を含め延べ19名の参加者を得て作業は予定通りに完了しました。
- 同時に、3箇所の巣箱を新しい場所へ移動しました。
営巣実績、周辺環境の変化などを評価し、今後も巣箱の配置転換を適宜検討していきたいと考えています。



③ 麻布大学での巣箱内残存物分別作業に参加

- 11/19、11/26、12/3の3回に分けて、麻布大学いのちの博物館で巣箱残留物の分別作業が行われ、フクロウグループからも延べ10名の有志が参加しました。
- 森林性のアカネズミが中心の八ヶ岳南麓に棲むフクロウの食性の中で、田圃や水辺に近い巣箱では蟹や蛙の食餌痕も散見され、周辺環境に応じて変化しているフクロウの食性が伺われ興味深く感じました。
- また、若い大学生・大学院生との共同作業はリフレッシュ効果もあり楽しい時間になりました。

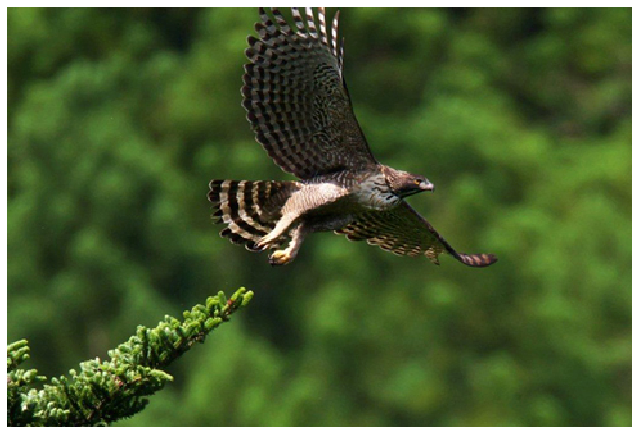


④ 観察説明会

- 2017年2月2日、北杜市大泉総合会館で巣箱観察説明会を開催しました。
(参加者30名)

今井義幸氏による「観察の方法とタッチ板傷痕の評価」の基調解説に加え、
以下のような興味深い二題のミニ講演もあり中身の濃い観察説明会になりました。

- (1)「フクロウの巣は宝の山 - 巣箱内残留物観察のポイント」(山路公紀氏)
- (2)「クマタカ撮影記」(栗原達夫氏)



クマタカ撮影記 (栗原達夫) 講演の一部



フクロウの巣は宝の山(山路公紀氏)講演の一部

山野草グループ

1. 本年度メンバー:40名
(リーダー佐藤久江、サブリーダー小飼むら子、佐波雅子)
2. 定点観察
場 所 大平県有造林地
期 間 2016年5月4日～10月12日の全6回
参加人数 延参加人数 56名 平均参加人数 9.3名
成 果 サクラソウの株数調査は行わなかったが、年々増加している。
ケブカツルカコソウについては増減なし。
3. 定点外観察
期 間 2016年3月30日～9月7日の全9回企画(雨天中止1回)
参加人数 延参加人数 151名 平均参加人数 18.9名
内 容 田中先生の植物観察会、高尾、美濃戸、入笠湿原、
池の平湿原(バスハイク)
4. 保護活動
 - 1)2012年から2014年までの3年間、県営八ヶ岳牧場上の県有林内に、オキナグサをシカの食害から守るための保護柵を設置。
5月25日株数調査を行った。
 - 2)入笠湿原において、帰化植物と強勢植物の除去を行った。

ハイキンググループ

メンバー: 17名

リーダー: 安本雅昭

- 活動内容: ①「自然観察会」ハイキング計画の提案実施(月1回程度)
②計画実施のための下見活動
③安全確保のためのガイド研修

観察会実施状況

4月 7日	新府桃の里ウオーク	雨天中止(申込み33名)
5月19日	新緑の荒倉山・登山	参加者17名(一般3名)
6月17日	初夏の守屋山・登山	参加者26名(一般5名)
7月15日	霧ヶ峰・花トレッキング	参加者31名(一般2名)

8月19日	白駒池～高見石・軽登山	参加者38名(一般なし)
9月16日	雨乞岳・登山	参加者16名(一般3名)
10月21日	鷹見岩・登山	参加者22名(一般4名)
2月15日	入笠山・スノーシュー	参加者18名(一般1名)
3月 3日	北八 雨池・坪庭スノーシュー	参加者 9名(一般なし)

グループ活動

① 下見活動 23回

② グループ活動(研修登山)

4月22日「毛無山・登山」10名

7月19～20日「甲斐駒・仙丈岳 登山」3名

8月4～5日「地藏岳(鳳凰三山)～高峰 登山」9名

- ・ 自然観察会 8回 参加者合計 177名
- ・ ハイキングG下見会 23回
- ・ 研修登山 3回

2017年度 活動方針(案)

自然観察会

自然への理解を深め、会員相互の親睦を図る

調査活動

グループ活動(フクロウ・山野草・ハイキング)を
継続し、充実を図る

環境保全活動

希少動植物の保護観察や活動フィールドの
保全を行う

2017年度 活動計画(案)

自然観察会 月1～2回の実施

調査・環境保全活動(各グループ活動)を継続

講演会の実施

会員による八ヶ岳自然写真展を開催

フクロウグループ

- ① 営巣経過の観察
 - 1月～6月
 - センサーカメラでの動画記録
 - 営巣巣箱観察活動からのデータの集積(含、写真、動画)
- ② 巣箱の保守管理
 - 巣箱の補修・保守作業(6月、11月)
 - 巣箱周辺環境の調査
- ③ 巣箱内残留物の分析
 - 営巣巣箱内残留物を麻布大学への提供
 - 麻布大学での残留物分別作業への参加
 - 特別企画展「フクロウが運んだもの」展
(麻布大学いのちの博物館、7月～9月予定)への協賛
- ④ 観察データの供覧
 - 「フクロウ巣箱・観察記録一覧」のネット掲載
 - フクロウグループニュースの発行

山野草グループ

1. 本年度メンバー:40名

リーダー佐藤久江、サブリーダー佐波雅子、安本みどり

2. 活動方針

①観察活動

大平県有造林地

5月3日(水)～10月4日(水)の5回

定点外観察

3月29日(水)～9月20日(水)の9回

内1回は外部講師を招いての学習会

②保護活動

引き続きオキナグサ・サクラソウ・ケブカツルカコソウの
保護を行う

観察地におけるごみ拾いも継続する

ハイキンググループ

1. 活動内容

- 1) 観察会・ハイキング計画の提案実施(月1回程度)
- 2) 計画実施のための下見活動
- 3) 安全確保のためのガイド研修

2. 実施計画案

- ・観察会:新府桃の里、甘利山～千頭星山、十文字峠、高登谷山、富士見高原、飯盛山周辺、廻目平周辺 など
スノーシュー・ハイク→入笠山、北八ヶ岳周辺 など
- ・グループ活動:
鳳凰三山縦走(薬師～観音～地蔵)など

3. その他

- ・現在のグループメンバー数 17名
- ・メンバー随時募集
観察会での登山・トレッキング技術を参考、山岳保険加入必須

ショートトーク

① 中国食品の安全性

佐藤元昭さん

② ハイキング？トレッキング？

安本雅昭さん